

第78回精神保健シンポジウム・上映 施政権返還50年——未来への回想 国による隔離政策を考える

7/18 (月・祝)

会場:那覇文化芸術劇場
なは一と1F 小劇場

上映作品

「夜明け前のうた
消された沖縄の障害者」

10:30 開映/10:00 開場 入場無料

シンポジウムプログラム

13:15~16:30 資料代:800円

【第1部】「時男さんの国賠訴訟に連帯する」

伊藤時男(長期入院国賠訴訟原告)、藤井克徳(日本障害者協議会代表、日本精神衛生会理事)

司会:小浜日登美(自立生活センターインクルーシブ)

【第2部】「ハンセン病の国賠訴訟に学ぶ」

金城幸子(元ハンセン病違憲国賠訴訟原告)、平良仁雄(同)、山城紀子(ジャーナリスト)、沢知恵(歌手・ハンセン病療養所の音楽研究)

司会:高橋年男(沖縄県精神保健福祉会)

7/17 (日)

オプションツアー

定員15名 ※バスでの移動

【バスツアースケジュール】

12:00 ~ 那覇空港出発・昼食 ~ 沖縄本島北部
(私宅監置小屋を見学・関係者のお話など) ~
屋我地島(国立療養所沖縄愛楽園・資料館を見学)
~ 那覇に戻る

【お問い合わせ】沖福連(山田)

【主催】公益財団法人日本精神衛生会、「国による隔離政策を考える」実行委員会、おきなわ障害者人権センター

◎編集後記◎

朝ドラ『ちむどんどん』、主人公の兄が世間的に不評のようです。定職につかず、家族から金を借りたり盗んだりを繰り返し、うまい話に騙され、しかも悪びれることもない。「間違ったこと」ばかりしているように映ります。

いい加減で間違ったことばかり。ドラマなので誇張も目立ちますが、どうも「困った人」です。でもこういう彼がいろんな人に迷惑をかけながらのびのび暮らしているのを見ると、彼らをとがめてどこかへ排除する世の中よりは、ぜんぜん悪いことじゃないんじゃないかな、とうっかり感じたりもします。(増山)

編集:公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会

会長 山田 圭吾

〒901-1104

沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1

てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行:九州障害者定期刊行物協会

〒812-0044

福岡市博多区千代 4-29-24 三原第3ビル 3F

電話 092-753-9722 FAX092-753-9723

定価:10円(会費に含まれる)